

脳梗塞で3回倒れても・・・ 医者に見放されても・・・ 小説を書いた

黄輝光一さんのお話を聞く会

黄輝さんは三度目の脳梗塞で、医者からは「脳が末期的状態で緊急手術をしないとすぐ死ぬだろう」と言われました。しかし、手術を受けませんでした。それでも、左脳がない状態で小説「告白」を書きました。なぜ？どうして？これは奇跡でしょうか？黄輝さんからお話を聞いてみましょう。

時 2019年3月2日(土曜日)

場所 ハックルベリーブックス (柏市柏3-8-3 ☎04-7100-8946)

時間 午後2時-4時 (開場1時30分)

参加費 500円 先着20名

黄輝光一(こうき こういち) 略歴

1951年、長野県佐久市生まれ。早稲田大学卒。銀行員を経て保険代理店を開業するが、2016年、三度目の脳梗塞で倒れ、廃業。リハビリをしながら執筆活動中。「笑いヨガ」リーダー(ラフターヨガ・インターナショナル・ユニバーシティ認定)。ダンスパフォーマー。神奈川県川崎市在住。

小説「告白一よみがえれ魂一」

(コールサック社) 2018年出版

主催 花みずき

問い合わせ 鈴木(070-6462-1197)

